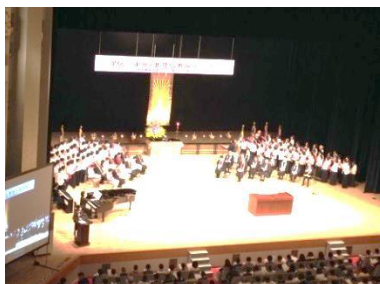




千万の いのちの上に 築かれし たひらけき世を 生くる悲しさ
 思い出は いやあらたなり み墓辺の 苔のみどりは ふかみゆけども
 「千万の」 ちよろずの(戦没者にささぐ)より

6月24日(金)第9回中部・北陸仏教婦人会大会が、ご門主ご来席の中開催され、富山・高岡・石川・福井・岐阜・東海各地より 2150 名が参加しました。存仁寺からも 14 名が、バスで日本特殊陶業市民会館に出かけました。

開会式ではコーラスの方々と共に音楽礼拝の勤行が会館に響きました。引き続き、



「家族が亡くなった。さあどうする？」を教区の前仏婦役員さん方が劇をされ笑いの渦を作りました。昼食のお弁当をいただき、午後からは、法話楽団



迦陵頻伽によるピアノ・ギター・フルートと布教のコラボです。「しんらんさま」「浜千鳥」「みかんの花咲く丘」「バラが咲いた」など、新たな伝道の味わいがありました。



最後は本願寺派勸学浅田恵真さんより「無常を領受すること一九條武子様に聞く」と題して記念講演です。身近な方との無常の別れからのご縁、関東大震災での九條武子様の歌を通しての深いあじわいを聴聞させていただくなか、しみじみと一日の日程が終りました。



6月11日(日)蓮如忌法要をおつとめさせていただきました。



「蓮如上人作法」を皆さまで勤行です。

今回のご講師は、岡崎から伝導寺山宮真船さんにお越しいたさきお話しと、二胡の演奏でのご聴聞



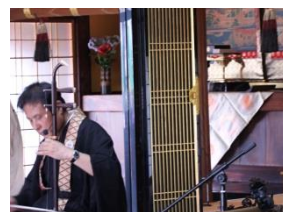
をさせていただきました。まず、二胡の曲では、「萍聚 - ピンジュイ」「蒼き海の道」の演奏、長生きすると寂しいという話がきかれます。自分のことをわかって



くれる方、同じ世代を生き共有した方が減ってくる悲しさ。「庭の千草」この曲は一人残された寂しさを感じる曲。さみしいとき、「なだそうそう」涙が出ます。しかし、どんな時も私を受けひき受けてくださるはたらきに遇うとまた前に進むことができ、



生きることができます。共に歩んでくださる阿弥陀さまがいてくださるから「川の流れのように」生き、「念仏」いただき「恩徳讃」とご報謝。



アンコール「ふるさと」「花は咲く」「賽馬(さいま)」

6月23日(木)~24日(金) 鈴鹿組仏教壮年会本山念仏奉仕団に吉井教生会長、服部光雄さん、井関さんが参加。吉井さんが10年の参加で表彰を受けました。また、26日(日)東海教区仏教壮年連盟総会・研修会に吉井会長、駒田学さん内田昭さんが参加され、「うけつぐ伝統 伝えるよろこび」のテーマの中、花岡静人さんの御法話を聴聞させていただきました。



無常を領受するということ

―九條武子様に聞く―

龍谷勸学 浅田 恵 真

① 母の如たのむ大地の叛逆になす術もなし人の子あはれ無憂華

② 十重二十重 火炎の波にお(追)はれおはれ
いづちゆくべきわが身ともしらず (無憂華)

③ ふとわれを流刑の囚とをのゝきぬ
うしろにあがる炎の歎呼 (無憂華)

④ 人もわれも阿鼻叫喚の地獄界
ただに 譬喩とおもひてありき (薫染)

⑤ 因果経その絵巻を まなかひに
ひろげられしは 夢ならざりき (白孔雀)

⑥ 思ひ出のよすがだになきやきあとに
いまたつ我はまことのわれか (無憂華)

⑦ ただ一夜うつつの夢のさめて見れば
身にそふものはなにものもなく (無憂華)

⑧ よろず皆そらごととなりとのたまひし
教まさしう身にしみし夜や (薫染)

⑨ 大正十三年八月築地本願寺編『震災を省みて』『追憶の私から』

私はこの頃、都市の中心街を歩いてみますと、地震の体験者はひとりも無いのかと思うほど旧に倍した雅やかな装いをみて、言い知れぬ感じがいたしますと同時に、親鸞聖人の『歎異抄』の言葉が、あの火に追われていく道すがらヒシヒシと胸に刻まれました時を、忘れはならないと思うております。

⑩ こころの合掌

見えねどもそのみすがた
聞こえねどもそのみこえ―
さはれわれのみぞ知る
不断のちかひ不滅のひかり
ひざまずきてもろ手を合わせ
うたがはじこ(此)のよるこびに
うけまします
吾がこころの合掌



おほいなるものちからにひかれゆく
わがあしあとのおぼつかなしや

(無憂華)
(無憂華)

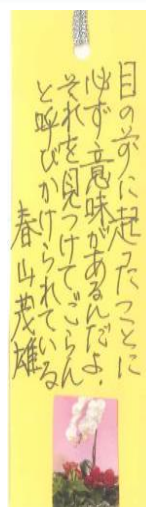
鈴鹿組第20期門徒推進員養成連続研修会(連研)が開催されます。期間は平成28年9月より、平成29年12月まで、開校式・閉講式を含む全16回の研修です。また、連研は鈴鹿組13ヶ寺を順番に回って話し合い法座を中心に、おつとめ(「正信偈」行譜・草譜)、浄土真宗の作法やみ教えに問い学ぶご縁の場です。今まで何もわかりません、全然知りませんという方、これから少しでも教えを学びたいと思われる方、気軽に是非ご参加ください。たくさんの素敵な出会いがあなたを待っています。毎月第3日曜午前9時から12時まで。2年間の参加費は1000円です。ともに、あゆみましょう。開講式は9月18日(日)亀山市楠平尾専念寺様にて。申し込み問い合わせはお寺まで。



朝倉市
森田
瑛子
さん



光子
大鳥
さん



落合 登代子

恙なく 過ぎしひと日の 新茶かな
万緑の 真ん中ぬける 風の色
墓石の 閑伽をゆつくり でんでん虫
一族の 苔むす墓に 花桔梗
せせらぎの 音透き とおる若楓
思う事 云わぬがよいか 七変化
紫陽花や 可愛き嘘も 許されて



毎月1日と16日のさわやかなひと時、6時30分～7時15分おあさじにお参りください